

総代会等

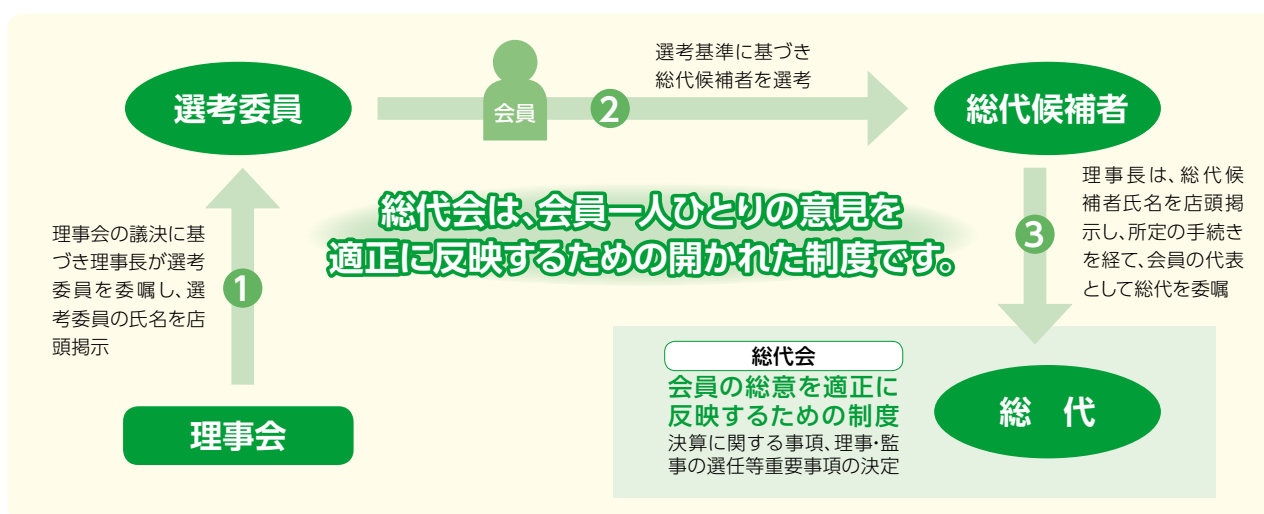
総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互惠」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。

しかし、当金庫では、会員数が2万1千人以上とたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選定する総代選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、利用者満足度調査を実施するなど日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。



総代とその選任方法

(1) 総代の任期・定数

任期 総代の任期は2年です。

定数 総代の定数は72人以上102人以内で会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。
なお、平成26年3月末日における総代数は86名で、会員数は21,266人です。

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

1 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。

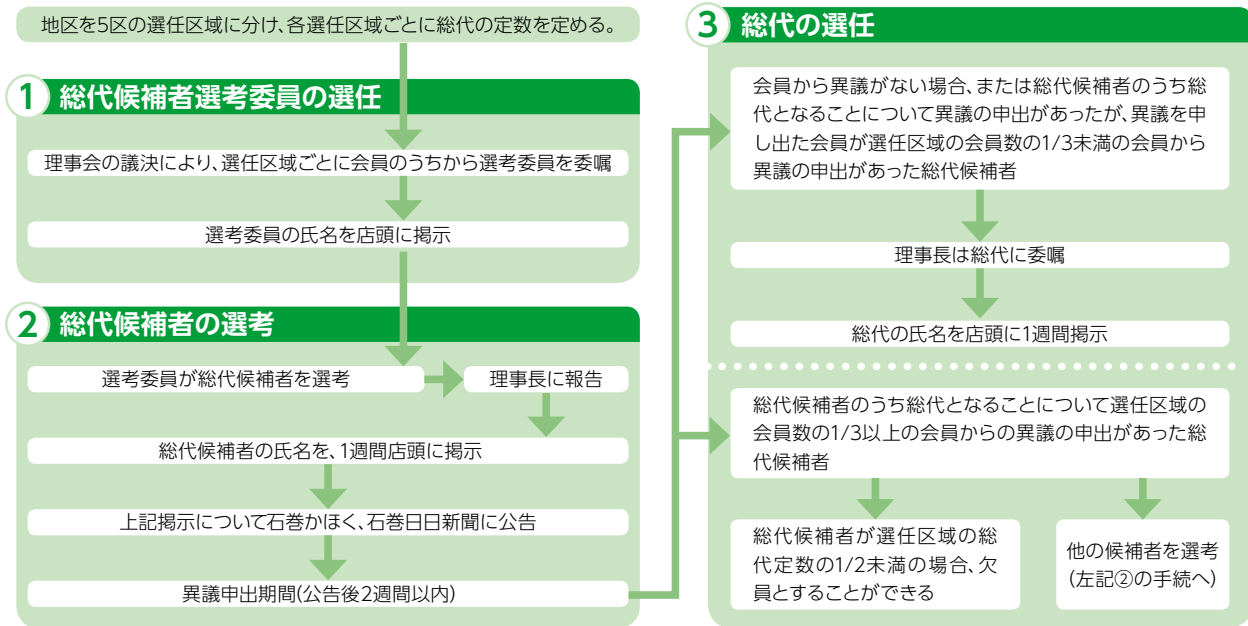
2 総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。

3 総代候補者を会員が信任する。(異議申し出も可能。)

総代候補者選考基準

- 1.地域の信望が厚く、総代としてふさわしい見識を有している者
- 2.物事を公正・公平に見て、良識をもって正しい判断ができる者
- 3.金庫経営ならびに業績発展に積極的に協力してくれる者
- 4.就任時満80歳未満の者(年齢の判断基準日は総代就任日)
- 5.その他総代選考委員が適格と認めた者

総代が選任されるまでの手続きについて



第88回通常総代会の決議事項

第88回通常総代会において、下記の事項が付議され、それぞれ原案のとおり了承されました。

報告事項

第87期業務報告、貸借対照表および損益計算書内容報告の件

決議事項

●第1号議案 第87期剰余金処分案承認の件

以上



総代紹介 会員の皆様の中から、88名の総代を選任しております。

選任区	氏名	選任区	氏名
第一選任区 (定数15～21名)	安倍 友一、浅野 亨、井上 一、比佐野 信一、日野 節夫、小野寺 武夫、遠山 敬介、鈴木 康之、佐藤 信也、後藤 春雄、大槻 正治、加藤 豊男、齋藤 祐司、片岡 章記、三浦 政洋	第三選任区 (定数13～19名)	遠藤 敏明、木村 一成、高橋 政市、高橋 英雄、高橋 一郎、藤井 一雄、米本 貞之、阿部 耕衛、石川 訓志、斎藤 一雄、末永 勘二、遠藤 学、阿部 忠昭、阿部 理明、木村 長門、臼井 泰文、近江 弘一
第二選任区 (定数27～37名)	菟田 利夫、鈴木 康雄、日野 武紀、四倉 俊成、尾形 和昭、阿部 博昭、大橋 光一、和賀井 啓之、瀬崎 和雄、太田 忠雄、高橋 芳昭、吉田 慶逸、加賀 剛、松浦 長三郎、佐藤 丈春、佐々木 慶二、勝又 二郎、佐藤 恵昭、赤間 省吾、稲部 仁一、佐々木則昭、松井 義明、大河原 惇、伊藤 武彦、松本 賢、津田 昌克、熊倉 一徳、大塚 敏夫、毛利 壮幸、大江 康博、五十嵐 剛司、伊藤 正悦、福山 貞夫	第四選任区 (定数13～19名)	熱海 義信、及川 仁一、佐藤 良智、加藤 勲、高橋 建一、高橋 信、千葉 三男、上岡 國夫、木村 浩一、遠藤 和子、大森 宣勝、栗石 浩、森山 眞木夫、石川 信雄、水澤 長之、千葉 裕博、松本 鉄幹、渥美 滋
		第五選任区 (定数4～6名)	木村 征郎、鈴木 敬幸、鈴木 博、高橋 孝信、高橋 正典

(任期:平成26年8月から平成28年7月 順不同)